

平成二十九年度 第六十回卒業式

式辞

スズメやカラスの姿をよく見る校庭に、先日、緑色の鳥を見つけました。ウグイスでした。そのウグイスが留まった河津桜が、この週末に薄いピンク色の花を咲かせました。まるで、皆さんの卒業を祝うかのように…。

本日、第六十回卒業式を挙行了しましたところ、公私ともに大変お忙しい中、弥富市議会議長武田正樹様をはじめ、多くの来賓の方々のご臨席を賜ることができました。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

さて、今、担任の先生が呼ぶ名前に、一人一人がしっかりとした返事をし、卒業証書を手渡しました。これにより、皆さんは弥富中学校の卒業生となりました。ご卒業、おめでとうございます。ここに、古い、触れたら崩れてきそうな分厚い本のようなものがあります。これは、「卒業証書台帳」といって、卒業した人たちの名簿です。

この一番後ろに皆さんの名前が記されたわけです。前の方をめぐってみると、九二〇二号に都築政秀という名前があります。PTA会長さんです。一四一七号に服部彰文と、市長さんの名前もあります。ちなみに、四八二〇号には高山典彦の名があります。この最初のページに第一回卒業生の名前が記されてから、今年は六十年目の節目の年です。

そんな節目の年ということで、「創立六〇周年誌」を作成しました。昨日、それを手にし、家で家族と一緒に見てくれたと思います。ご来賓の方々には、本日、封筒に入れさせていただきましたのでご覧ください。弥富中学校の六十年を振り返ると、それは「愛」によってつながった歴史でした。できてまだ一年しかたっていない真っ白な校舎が、たったひと晩で泥水につかってしまった伊勢湾台風。尊い命も失われたと聞いています。失意のどん底にいた弥富の人たちを、弥中生を救ってくれたのは、家族の愛であり、祖父江中学校を含めたたくさんの方々からの愛でした。きっとこの時に弥富中学校の進むべき方向は決まったのだと思います。いただいた愛に報いなくてはならない、と。だからたくさん勉強しました。だから、体を鍛えました。そして、今、道德の授業を中心に心を育てています。

みなさんがこの弥富中学校に入学した三年前、私がこの場所で、あることを「約束」しました。覚えていますか。「弥富中学校での三年間が将来の皆さんの基礎となる」と、皆さんやおうちの方に言いました。今、その三年目の答え合わせの時です。

学校祭体育の部で、PTA会長様がブロックの色のTシャツを一枚ずつ脱ぐパフォーマンスで開会式を盛り上げてくださいました。皆さんのことを愛しているからです。雪が降った朝、まだ真っ暗な中、一人二人と先生たちが学校へ来て、皆さんが通るところの雪かきをしてくれました。皆さんのことを愛しているからです。先日、一年生、二年生が素敵な合唱と出し物で「三年生を送る会」を開いてくれました。皆さんのことを愛しているから……。そうかもしれない。でも、それだけではないと思うのです。学校生活のさまざまな場面で、皆さんが後輩たちにたくさんのお愛を注いでくれたからです。皆さんは、この三年間で、愛を受け取るだけでなく、人を愛せる人に成長したのです。これが、三年間の答えです。

これまで、ここに名を記した人たちが脈々とつないできた愛を、こうして次へとつなぐことができるよう成長した皆さんを、私ほとても誇らしく思います。自慢の二〇九名です。

しかし、忘れてはいけないのは、この三年間はあくまでも「基礎
“だということ。ミュージシャンのジョン・レノンは「愛とは、
育ててくれない花のようなもの」と言っています。今、皆さ
んの心の中に育った愛する気持ちも、このままほおっておいたら枯
れてしまいます。花が多くの水を吸って成長するように、これから
先も、多くの人と出会ってその視野を広げてください。花が光のさ
す方向に伸びるように、目標に向かって歩み続けてください。あな
た方がそれを続けていく限り、三年間で築いた基礎の上にさらに大
きな愛の花が咲くことと思います。今日ここにいてすべての大人が、
その花が咲く日を楽しみに待っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠にお
めでとうございます。

今、三年間の答え合わせをさせていただきましたが、保護者の皆
様からご覧になったお子様はいかがだったでしょうか。基礎ができ
たとは言うものの、日々接する中で、揺れ動くことも多々あったこ
とと思います。そんな時に、いつも近くで見守ってください、支え、
応援してくださったのが、ご家族の、まさに大きな愛でした。懇談

や家庭訪問、様々な行事でそれを感じることができました。また、あわせて、私ども教職員に対しても深いご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さあ、卒業生の皆さん。しっかりと張った根で水を吸い上げなさい。大きく広げた葉で光をつかみなさい。強い風が吹いても、凍えるような寒さに見舞われても、びくともしない大きな愛、六十年つないできた愛があなた方を見守り続けることを約束し、式辞といたします。

平成三十年三月六日

弥富市立弥富中学校長 高山典彦